



文化博物館だより

第587号

2022年9月30日

今回の博物館だよりは、開催中の企画展「明石藩の世界 X 一漁場の利用 水・耕地の利用」の関連イベント、常設展示室内企画展関連展示、第5回「あかし若手アートチャレンジ」のご案内をお届けします。

企画展「明石藩の世界 X 一漁場の利用 水・耕地の利用」関連イベント



講演会の様子

9月17日(土)は、「水利用をめぐる村々の争論と農業—明石市西部を中心に—」と題して、神戸大学大学院人文学研究科特命助教の加藤明恵氏による講演会を開催しました。少ない水資源をめぐる、江戸時代後期に福里村とその周辺村落の間で繰り返し発生した争論について概観しました。

9月25日(日)の展示解説では、加藤明恵氏と、当館学芸員(須貝・濱室)が会場で直接史料を前に解説しました。なお、展示解説は10月2日(日)にも予定しています。当日参加も受付ける予定です。ぜひご参加ください。



展示解説の様子



常設展示室内 企画展関連展示 / 橋本海関「五節句図」

今回の企画展では、橋本海関の業績に迫る史料を紹介するコーナーがあります。それに併せて、現在常設展示室入口でも海関の作品を展示しています。橋本海関(1852~1935)は、明石藩士で儒学者であった橋本文水の子。近代日本画家として高名な橋本関雪の父でもあります。教育者として活躍する一方、詩画に秀でた文人でもあり、播磨各地の逗留先で多くの書画を残しています。それらの中に、5幅1組の「五節句図」があります。現在そのうちの3点(八朔、中元、重陽)を展示しています。ぜひ常設展示室の展示もご覧ください。

開幕しました! 第5回「あかし若手アートチャレンジ」(~10月10日(月・祝))

第5回目を迎える今回は、過去最多の7校の美術専攻・美術部所属の生徒・学生計 81 名・1組が出品しています。油彩、アクリル画、日本画、彫刻、陶芸、ジュエリー、フィギュア、ガラス、デジタル作品など多様なジャンルにわたる作品 88 点が一堂に会しました。

本展は、作品を出品するだけでなく、展示作業や作品に照明をあてる作業も当館学芸員指導のもと、生徒、学生自らが実施しました。

初日は、出品者によるギャラリートークを開催。その様子は会場内で放映しているので、ぜひご覧ください。また今回は、神戸芸術工科大学アート・クラフト学科の美術科教員を目指す学生が、本展出品者向けのワークショップを企画し、交流を深めました。その成果物も展示室内でご覧いただけます。こちらの展示にもご注目ください。

【会期】開催中~10月10日(月祝) ※入場無料

【入場時間】10時~17時

但し10月10日(日)は10時~15時

【会場】明石市立文化博物館 2階ギャラリー

【休館日】10月3日(月)

【出品校】明石市立明石商業高等学校、兵庫県立明石高等学校、兵庫県立明石西高等学校、兵庫県立明石南高等学校、兵庫県立錦城高等学校、神戸学院大学、神戸芸術工科大学



ギャラリートークの様子



神戸芸術工科大学の学生企画によるワークショップを開催しました。

企画展「明石藩の世界 X 一漁場の利用 水・耕地の利用」

会期：2022年9月10日(土)~10月16日(日)

月曜休館(但し10月10日は開館)

開館時間：9時30分~18時30分(入館は18時まで)

観覧料：大人200円、大高生150円、中学生以下無料

おもしろい たのしい
来て、見て、発見!
ぶんぱくGO!!



詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



SDGs未来安心都市・明石

いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで